

大阪府北部地震および 平成30年7月豪雨の経験から学ぶ(仮称)

東日本大震災以降、集中豪雨による土砂災害や大規模な河川の氾濫、最近では台風21号や北海道胆振東部地震など様々な自然災害の発生により、多くの尊い命が奪われております。

グループホーム事業者として、これらの災害における救援救護活動の状況や課題などを教訓として、自然災害から利用者を守り、安心、安全なグループホームづくりのための日常の備えや発災時における情報収集体制、支援体制、広域連携などの在り方を改めて見つめ直し、救援救護体制を整備する必要があります。

当協会は、被災した高齢者福祉施設やグループホームのこれまでの復興状況を共有し、今後に向けて皆様と一緒に防災について考えていく機会になるよう、記念講演とシンポジウムを企画いたしました。今までの災害の教訓を生かして、自然災害の課題と対策について考えると共に、発災時から復興期までの支援体制、地域・行政等との連携のあり方、日常の備えなどの見直しを含め、今後おこりうる災害対応についての提言を行います。

つきましては、下記のとおりご案内いたしますので、ぜひともご参加くださいますようお願いいたします。

と き：平成30年10月5日(金) 13:00～16:30 (12:30より受付開始)

と ころ：岡山コンベンションセンター(展示ホール)

岡山県岡山市北区駅元町14番地1号

主 催：公益社団法人 日本認知症グループホーム協会

定員数：80名 ※定員に達し次第締め切らせていただきます。

参加費(資料代として)：日本GH協会会員 ￥500-

非会員 ￥2,000- ※当日、受付でお支払いください。

《プログラム概要》

◆開会式

◆防災記念講演

『自然災害からグループホームの利用者を守るためには(仮)』

◆復興シンポジウム

『大阪府北部地震および平成30年7月豪雨の経験から学ぶ(仮)』

◆閉会式

プログラム

12:30~	受付開始
13:00~	開会あいさつ 日本認知症グループホーム協会 常務理事 大久保 健作（災害対策委員会委員長）
13:15~14:20 【第一部】	防災記念講演 『自然災害からグループホームの利用者を守るためには（仮）』 講師 坂口 隆夫 氏 公益財団法人 市民防災研究所 理事・事務局長
	休 憩
14:30~16:20	シンポジウム『被災施設から防災・減災に向けての提言』 被災施設報告（報告者については現在調整中） 愛媛県・岡山県・広島県・大阪府の被災会員事業所の職員より、日頃の備えや被災時の状況、地域との支援体制等について各 15 分程度で報告 コメンテーター 公益財団法人 市民防災研究所 理事・事務局長 坂口 隆夫 氏 座長：日本認知症 GH 協会 理事 佐々木 勝則（災害対策委員会副委員長）
16:20~16:30	閉会あいさつ 日本認知症グループホーム協会 理事 近藤 るみ子（災害対策委員会副委員長）

※ 研修参加申し込みについては【別添 1】防災フォーラム参加申込書に必要事項をご記入の上、GH協会事務局へFAXにて9月25日（月）までにお申込ください。

※ 問合せ：日本GH協事務局（電話：03-5366-2157 FAX：03-5366-2158）

※平成31年3月8日（金）にも防災フォーラム・情報交換会（懇親会）を開催します。

こちらにも是非ご参加ください。

会 場：主婦会館プラザエフ9F（スズラン）

東京都千代田区六番町 15

定 員：80名（予定）

参加費：会員¥500 非会員¥2,000 情報交換会（懇親会）¥3,000（希望者）

【別添 1】



9月25日(月) 締切り

FAX 03-5366-2158

日本認知症グループホーム協会事務局 行

防災フォーラム 参加申込書

- ◆ 場 所 岡山コンベンションセンター（展示ホール）
（岡山市北区駅元町 14 番 1 号）
- ◆ 日 時 平成30年10月5日（金）13:00～16:30（12:30より受付開始）
- ◆ 定員数 80名 ※定員に達し次第締め切らせていただきます。
- ◆ 費 用 日本GH会員・学生 ￥500-（資料代として）
非会員 ￥2,000-（資料代として）

※当日、受付でお支払いください。

法人名	
事業所名	
会員区分	日本GH会員 ・ 非会員
住所	
TEL・FAX	
フリガナ	
参加者	
フリガナ	
参加者	
フリガナ	
参加者	
フリガナ	
参加者	
フリガナ	
参加者	

【本件に関するお問い合わせ】（公社）日本認知症グループホーム協会 事務局
東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル8階
TEL：03-5366-2157/FAX：03-5366-2158